

半田市・中国徐州市 ホストタウン交流について

【問合わせ】 スポーツ課 ☎22-1184

半田市と中国徐州市は、平成5年に友好都市として提携し、平成6年から現在まで青少年を中心としたスポーツ交流や文化芸術交流を盛んに行ってきました。平成29年12月には、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、半田市は中国のホストタウン(※)として登録されました。平成30年11月5日(月)～7日(水)の3日間、徐州市より国際大会で活躍する選手を育てたコーチ(バスケットボール、武術、水泳)を含む6名のスポーツ訪問団を招き、小中学生を対象にスポーツや文化の交流会を実施しましたので、その内容を紹介します。



歓迎セレモニーでの日本舞踊体験

※東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、地域活性化、観光振興などに資する観点から、大会の参加国・地域との相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」といいます。



横川小学校では、6年生を対象に武術コーチによる武術披露及び武術の礼や形を学ぶ交流会を開催したほか、訪問団が児童達と給食の時間をともに過ごすなど、学校文化にも触れていただきました。



市内の小中学生を対象に、亀崎小学校ではバスケットボールコーチの指導のもと、バスケットボール交流会を開催しました。



半田福祉ふれあいプールでは市内の中学生を対象に水泳交流会を開催し、水泳コーチによる指導をはじめ、質問会を開催しました。

各会場では、徐州市のコーチによる熱心な指導のもと、児童や生徒達が真剣な眼差しで学んでいる姿が見られました。今後も、両市での積極的な交流を行っていきます。